



2. 共同住宅

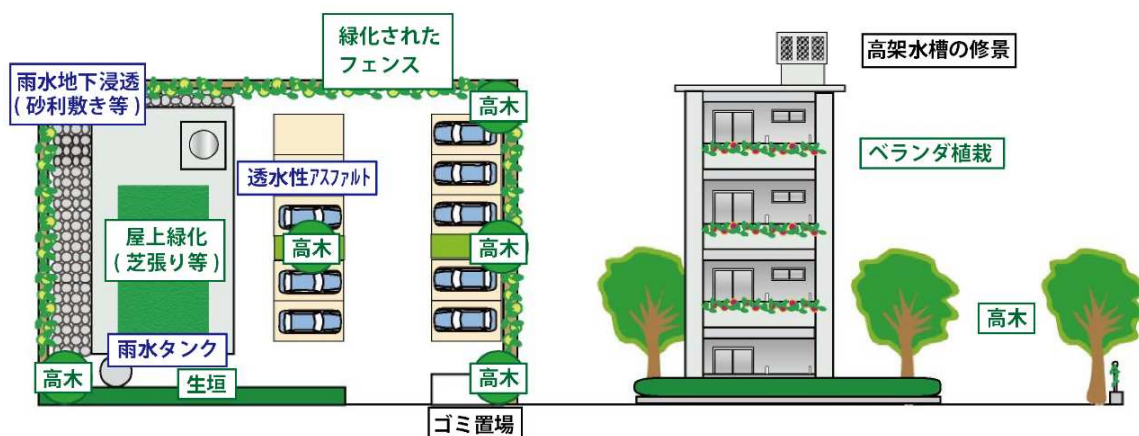
共同住宅を構成する重要な要素を 3 つに分類し、ゆとりと潤いある都市景観の観点から配慮すべき事柄の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

共同住宅は、比較的大きな建物となるため周辺環境との調和や長大な壁面の分節化、壁面後退と緑化計画などが重要となります。

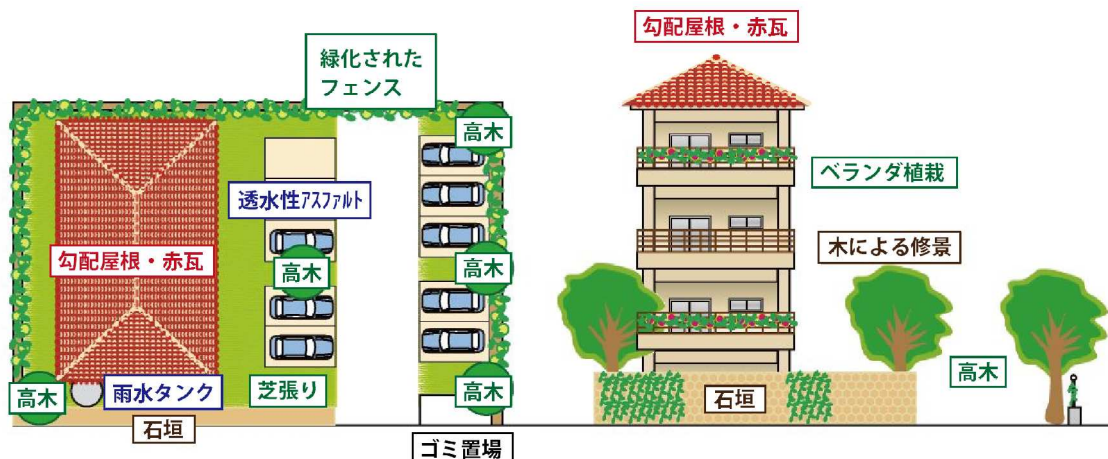
【共同住宅で重要視する要素】

位 置 等： 玄関アプローチ、駐車場
 形 態 意 匠： 色彩、屋根、壁面、屋外設備
 緑 化 等： 塀・生け垣、屋上・壁面緑化

一般的な共同住宅修景事例



歴史的地区での修景事例





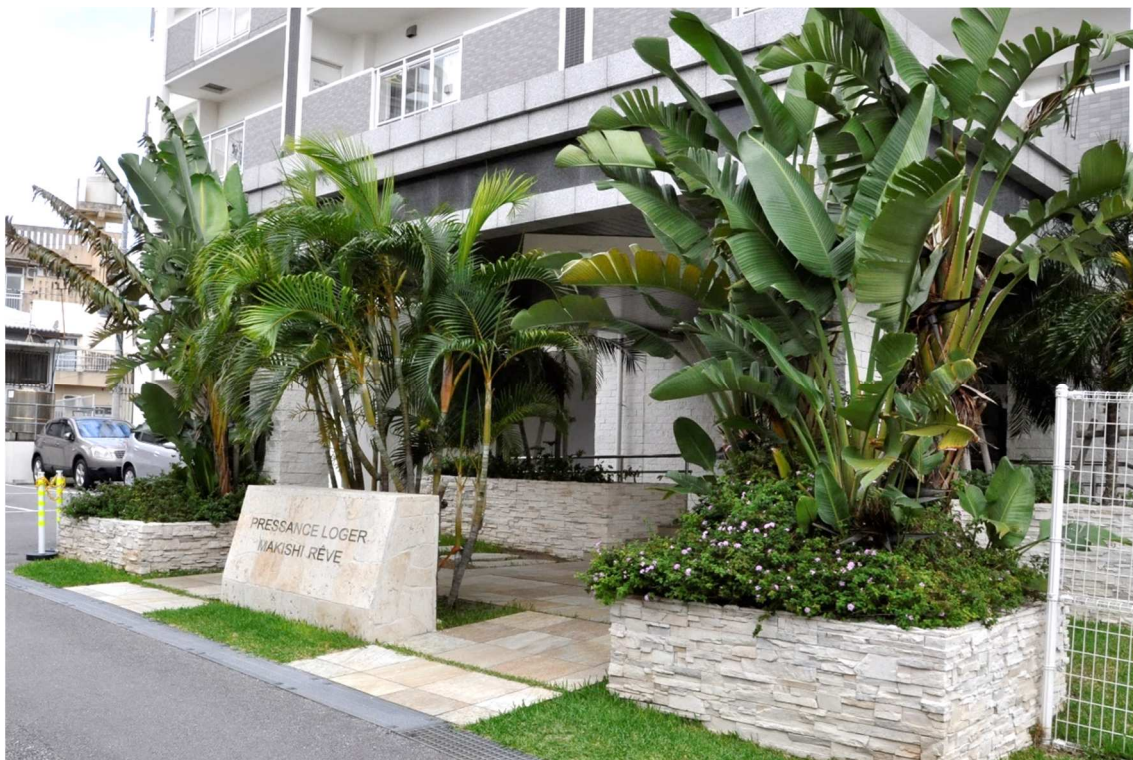
位置等

2-1 玄関アプローチ (景観ガイドラインP61)

デザインの Point

- ◆ 建物の顔となる玄関は、緑化などによる豊かな空間を形成することにより、魅力ある建築物となります。
- ◆ 建物をセットバックさせることで、ゆとりのあるアプローチ空間が生まれます。

ゆとりのある玄関アプローチ空間



建築物のポーチ部分に植栽スペースを設け、潤いのあるアプローチ空間を創出



建築物のポーチ部分にアプローチ空間を設け、赤瓦屋根を載せることで情緒ある空間を演出



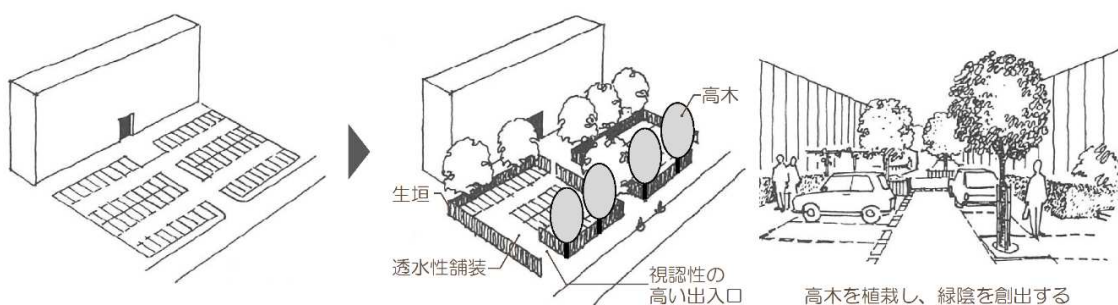
建築物の前面に緑豊かな散策路を設け、魅力あるアプローチ空間を創出



2-2 駐車場（景観ガイドラインP63～64）

デザインの Point

- ◆ 共同住宅の駐車場は多くの車両が駐車するため、駐車場の出入り口を集約化することで街並みの連続性や安全性に繋がります。
- ◆ 無機質になりがちな駐車場空間において、積極的な緑化を図ることで、施設に潤いを与える効果があります。
- ◆ 駐車場の地面に芝生などを活用することで、雨水を地下浸透させ、環境配慮にもつながります。
- ◆ 高木を植栽することで、緑陰を創出することができます。



出入口を集約化した駐車場



駐車場の出入口を1か所に集約し、歩行者への安全面に配慮



駐車場の出入口を1か所に集約し、車止めを計画することで歩行者への安全面に配慮

道路面・隣地に配慮した駐車場



駐車場と道路の間に植栽を施し、道路から車が見えないよう計画を行うことで、潤いのある駐車場空間を創出



生垣を計画することで、隣地へ配慮するとともに、緑あふれる駐車場空間を創出



駐車場面の緑化



駐車スペースに影響のない範囲で部分的に緑化



芝ブロックを用いて駐車場面を緑化

緑陰づくりに配慮した駐車場



駐車場の一部に高木を等間隔に植栽し、連続した緑陰を創出



駐車場の屋根部にツル性植物を這わせ、緑陰を創出



樹冠の大きな高木を植栽し、大きな緑陰を創出



形態意匠

2-3 色彩（景観ガイドラインP48～54）

デザインの Point

- ◆ 建築物及び工作物の外観における基調となる色彩については、亜熱帯独特の自然の豊かな彩りが感じられるコーラルホワイト※を中心とした色彩や低彩度の色彩を使用することで、統一感のある都市景観が生まれます。
- ◆ 建築物の中高層部に基調色を使用することで、街並みに連続性や統一感が生まれます。
- ◆ 建物の低層部に補助色や強調色を活用することで、建築物の表情をつくりだすことができます。
- ◆ アクセントカラーを小部分に効果的に用いることで、全体の配色を引き締める役割となります。また、素地色を生かした色彩とすることも効果的です。

※ 「コーラルホワイト」とは、那覇市のタウンカラースタンダードのために、琉球石灰岩のソフトな白をイメージしてつくった言葉です。



中高層部（およそ3階以上の上階）

都市の大景観を構成する要素となる。
エリア区分にかかわらず、基調色によって統一感を作る部分。

低層部（1～2階部分）

基調色と共に、補助色や強調色を活用する部位。
エリアの性格に応じて使う色の範囲が変わる。

中高層部に基調色、低層部に補助色・強調色を使用した例



大規模な壁面の圧迫感を軽減するため、壁面の塗り分けを工夫



低層部には補助色による壁面の塗り分け、中高層部には赤瓦による屋根色がアクセントカラーとなり、色彩計画を通して建物全体を演出



アクセントカラーを活用した共同住宅



縦型の樋隠しにアクセントカラーを用いることで、建築物の表情を創出



色彩の濃淡を使い合わせることで、落ち着いた表情を創出

建築コラム

外壁のメンテナンス

外壁をコンクリート打放し仕上げにする場合は、撥水剤等を塗布することで、外壁の防水性、耐久性を向上させます。また、美観を維持するためにも外壁をメンテナンスすることは有効です。



メンテナンス前



メンテナンス後



2-4 屋根（景観ガイドラインP55）

デザインの Point

- ◆ 建ち並ぶ住宅の屋根を統一感のあるデザインとすることで、調和のとれた街並みとなります。
- ◆ 赤瓦などを活用することで、沖縄の文化を感じさせる景観となります。

赤瓦素材を活用した屋根



赤瓦を用いた屋根により伝統的な街並みに配慮



赤瓦屋根を部分的に採用



連続した屋根が街並みにリズムを創出



陸屋根



屋根に高低差をつけ街並みにリズムを創出



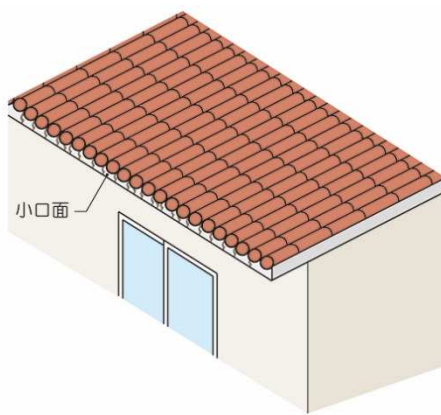
連続した屋根が街並みにリズムを創出



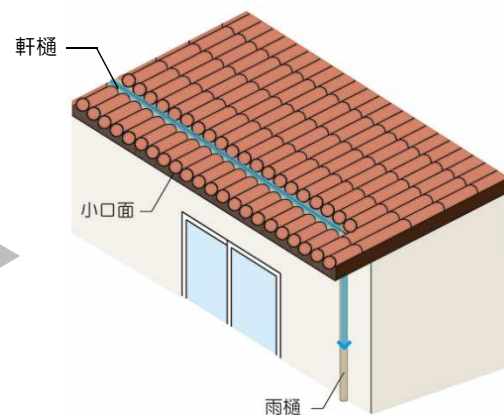
建築コラム

瓦屋根のメンテナンス

軒樋、雨樋を設けることで、屋根小口面の汚れを比較的防ぐことができます。また、小口面は、明度を落とした色で塗装することで、汚れを目立たなくすることができます。



軒樋、雨樋がない場合



軒樋、雨樋がある場合



2-5 壁面

デザインの Point

- ◆ 壁面やベランダは、それぞれの建物の存在や個性を表出するため、都市景観への影響も多大です。そのため、街並みの連なりや調和に配慮することが求められます。
- ◆ 壁面を操作することで、建物の圧迫感を和らげたり空間にリズムをつけたりすることができます。
- ◆ マンション等の大規模な壁面は分節化や雁行させるなど、建物の圧迫感を和らげる工夫をし、周辺環境と調和した形態意匠としましょう。
- ◆ ベランダやバルコニーは、緑化に努め、きめ細やかな表情づくりを工夫しましょう。

圧迫感軽減に配慮した壁面



アクセントカラーを用いた縦型の樋隠しにより壁面を分節し、ボリュームを小さくみせることにより圧迫感を軽減



【出典：地域のイメージを活かす景観色彩計画
日本カラーデザイン研究所 学芸出版社 2008年】

ベランダや手すり壁などの外壁面を低層部から高層部に塗り分けることにより、単調さを回避し、圧迫感を軽減



花ブロックと鋼製の手すりを用いて壁面に程よいリズムをつけ、表情を豊かにすることで壁面の圧迫感を軽減



建築コラム

花ブロックの活用による空間づくり

もしもデザイン

壁面の大部分が壁なら・・・

共同住宅など、比較的大きな建物においては、壁面を大きくしすぎると、周辺に圧迫感を与えることとなります。



加工写真

花ブロックを活用することで
圧迫感が軽減できる！



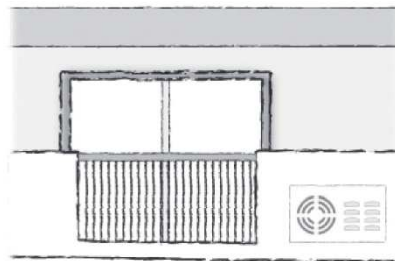
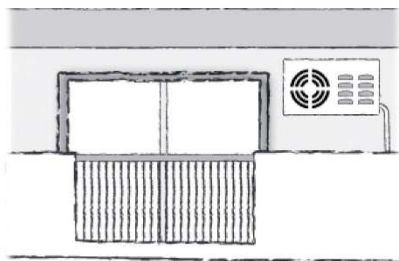
花ブロックを全面に用いることで、壁面に軽い印象を与え、街並みを崩さず魅力的な空間をつくりだすことができます。



2-6 屋外設備（景観ガイドラインP58）

デザインの Point

- ◆ 室外機や高架水槽などの設備はルーバーなどを活用して修景することもできます。
- ◆ 給水設備に高架水槽を採用する場合は、できるだけ露出を避け、景観に配慮した計画としましょう。

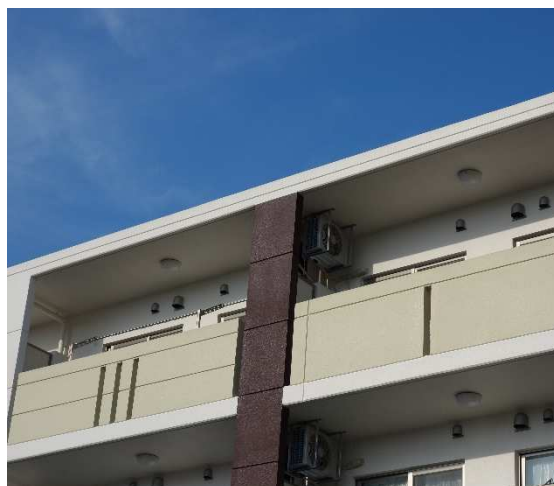


室外機は、周囲から視認されにくいよう配慮する

室外機への配慮



鋼製の横型ルーバーで室外機を隠した事例



目隠し壁により室外機を隠した事例

高架水槽への配慮



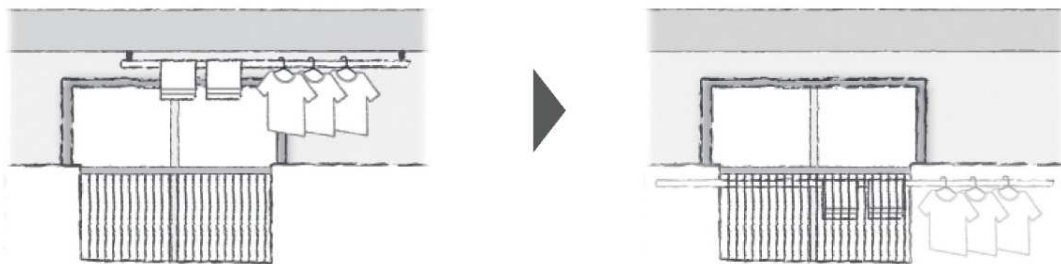
アルミルーバーで隠した事例



コンクリートで隠した事例



物干しへの配慮



物干しは、周囲から視認されにくいよう配慮する



物干しをバルコニーの手すりで隠した事例



物干しをアルミルーバーで隠した事例



物干しをバルコニーの手すりで隠した事例



緑化等

2-7 塀・生け垣（景観ガイドラインP67）

デザインの Point

- ◆ 緑化による潤いを感じる演出に心がけることで、生活空間に潤いをもたらすことができます。
- ◆ 塀・柵などは生け垣や緑化することで、良好な街並みを形成するとともに、道路からの目隠し効果もあります。
- ◆ 自然素材と組み合わせた生け垣にすることで、沖縄らしさを演出することもできます。

道路沿いへの緑化



道路沿いの狭小空間に緑化を行い、潤いのある景観となるよう配慮



塀を後退させた部分に、緑化空間を創出



壁面後退部分を花壇として活用し緑化を創出



2-8 屋上・壁面緑化（景観ガイドラインP56・60）

デザインの Point

- ◆ 屋上や壁面を緑化することで、良好な景観を創出し、生活空間に潤いをもたらすことができます。また、遠望からの景観に配慮することができます。
- ◆ 屋上や壁面は周辺からよく見えることから、手入れも重要な要素となりますので、適切な維持管理に心がけましょう。

屋上緑化



屋上の一部を緑化した事例



建物の中層部を活用した緑化の事例

壁面緑化



コンクリート手すり壁のスリット部分から覗くブーゲンビレアが、通りの潤いを創出



鋼製手すりの部分から覗く植栽が通りの潤いを創出



壁面に力強く登はんするブーゲンビレアが通りの景観に活気を演出